

## 1. インストール説明書に JAI のインストールを追加しました。

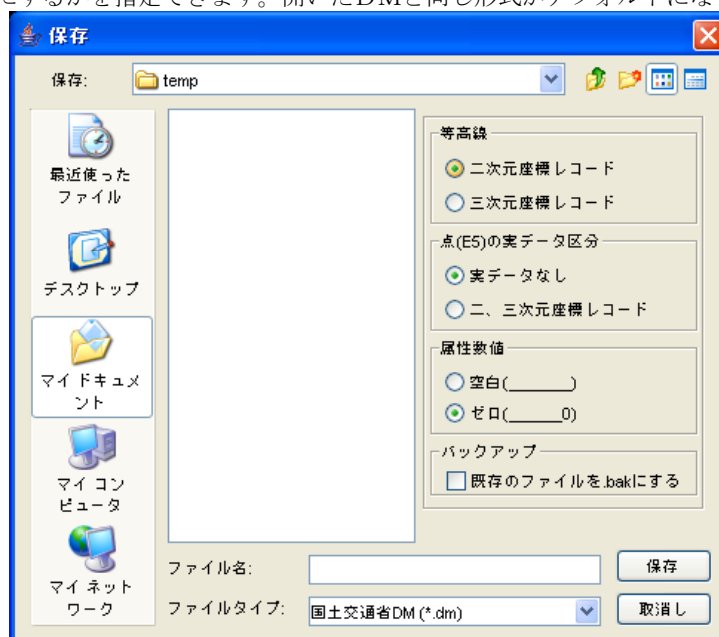
バージョン 2.01 から TIN に TIFF などのオルソ画像を貼り付ける機能を追加しましたが、TIFF をリードするために JAI (Java Advanced Imaging) をインストールする必要があります。詳しくはインストール説明書を参照してください。

## 2. 保存する DM の属性数値

DM 保存時に、等高線や基準点など以外の要素について、属性数値の欄を全てスペースにするか、スペースと 0 にするかを指定できるようにしました。

以下、操作説明書からの抜粋です。

DM保存時に等高線については、標高値を属性数値にセットしますが、二次元座標レコードか三次元座標レコード出力が指定できます。開いたDMデータファイルの等高線が二次元座標レコードで記録されていた場合、このダイアログのデフォルトは二次元座標レコードに、三次元座標レコードで記録されていた場合、デフォルトは三次元座標レコードになります。同様に、点要素(E5)の座標について代表点の座標値あるいは二次元座標レコード・三次元座標レコードでの記録に対応し、出力時にも指定できます。等高線や基準点など以外の要素について、属性数値の欄を全てスペースにするか、スペースと 0 にするかを指定できます。開いたDMと同じ形式がデフォルトになります。



## 3. TIN の境界作成を修正

[TIN]-[TIN の境界]メニューの「境界線(分類コード=9999, 間断区分=1)を TIN から作成」で、開いている DM ファイルに等高線がない場合、エラーとなって境界線ができない問題を修正しました。

## 4. 断面ファイル保存オプションを追加

TIN から地形の断面を計算し、ファイルに保存するオプションを追加しました。

[GeoCoach3D 断面ファイル保存オプション説明書](#) (PDF250KB)